

一般会計	No.149 子ども医療費等給付経費	所管	子育て支援課
------	--------------------	----	--------

(単位 千円)							
歳出予算決算	予算現額	款		項		目	
	131, 150	03款 民生費		03項 児童福祉費		02目 児童措置費	
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	130, 947		30, 379		577	99, 991	111, 236

事業の概要	総合計画上の位置づけ	1-(1)-5子育て世帯の経済的支援の充実		
	関連計画	ー：総合戦略		
		○：その他（第2期子ども・子育て支援事業計画）		
	事業期間	単年度繰返	平成22年度から	年度まで
	目的	子どもの適切な医療の受診により子どもの健康増進とともに、子育て世帯への経済的負担を軽減する。		
	対象	18歳に達する日以降の最初の3月31日までの間にある児童の保護者		
	事業内容	18歳に達する日以降の最初の3月31日までの間にある児童の医療費を助成する。		

事業の実績と成果	活動実績指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	医療費助成延件数		目標値	—	—
			実績値	55, 595件	45, 710件
			目標値		
			実績値		
			目標値		
			実績値		
	事業成果指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
	目標	子育て世帯への経済的負担を軽減することにより、子どもの保健の向上、子育て支援体制の充実に寄与する。			
	総評	子どもの健康増進とともに、子育て世帯への経済的負担を軽減し、子育て支援体制の充実に図れた。 令和5年度当初予算では、医療費助成で延44, 727件分の経費を計上していたが、制度拡充（8月から現物給付の対象を高校生等まで拡大等）により延55, 595件分を支出した。			

一般会計	No.161 ファミリー・サポート・センター事業経費	所管	子育て支援課
------	----------------------------	----	--------

(単位 千円)							
歳出予算 決算	予算現額	款		項		目	
	4,604	03款 民生費		03項 児童福祉費		02目 児童措置費	
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	3,858	1,286	1,286		1,286		4,876

事業の概要	総合計画上の位置づけ	1-(1)-4子どもの居場所づくり		
	関連計画	ー：総合戦略		
		○：その他（第2期銚子市子ども・子育て事業計画）		
	事業期間	単年度繰返	令和4年度から	年度まで
	目的	地域における育児の相互援助活動を推進するとともに、児童の預かり、ひとり親家庭の支援など多様なニーズへの対応を図る。		
	対象	市民		
事業内容	地域において子育て中の労働者や主婦等を会員として、援助を受けたい者と援助を行いたい者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う組織を設立して、次の業務を行う。 ・会員の募集、登録その他の会員組織業務 ・相互援助活動の調整、把握 ・会員に対して相互援助に必要な知識を付与する講習会の開催			

事業の実績と成果	活動実績指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	ファミリー・サポート・センター会員数		目標値	100人	—
			実績値	120人	—
			目標値		
			実績値		
			目標値		
			実績値		
	事業成果指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	年度利用件数		目標値	50件	29件
			実績値	54件	10件
	説明会の開催		目標値	15回	5回
			実績値	15回	9回
			目標値		
			実績値		
	事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
	目標	地域で子育てをサポートすることにより、子育て支援の充実に寄与する。			
	総評	子どもの送迎や一時的・短時間の子どもの預かるファミリー・サポート・センターの稼働により、育児の不安やストレスの軽減が可能な環境を構築することができた。			

一般会計	No.172 保育所におけるＩＣＴ化推進経費	所管	子育て支援課
------	------------------------	----	--------

(単位 千円)							
歳出予算 決算	予算現額	款		項		目	
	15,716	03款 民生費		03項 児童福祉費		03目 保育所費	
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	11,713	5,857				5,856	—

事業の概要	総合計画上の位置づけ	1-(1)-2保育環境の整備	
	関連計画	○：総合戦略	
		―：その他（ ― ）	
	事業期間	単年度繰返	令和 5 年度から 年度まで
	目的	保育士の負担軽減と働きやすい環境を実現することにより、保育の質の向上を図るとともに、保護者と保育所双方の利便性を高める。	
	対象	公立保育所	
	事業内容	保育業務支援システムの導入及びシステムを利用するための環境整備	

事業の実績と成果	活動実績指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	システム導入施設数		目標値	3箇所	—
			実績値	3箇所	—
			目標値		
			実績値		
			目標値		
			実績値		
	事業成果指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	システム利用満足度 (最大ポイントを5ポイントとする)		目標値	2.5ポイント	—
			実績値	2.8ポイント	—
	保護者連絡アプリ利用満足度 (最大ポイントを5ポイントとする)		目標値	2.5ポイント	—
			実績値	3.9ポイント	—
	()		目標値		
			実績値		
	事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
	目標	システム導入により、業務負担軽減を図り、働きやすい環境を整備することで、保育の質の向上、保護者と保育所双方の利便性の向上を図る。			
	総評	令和6年1月から保育業務支援システムの運用を開始した。システム導入により、業務負担軽減を図り、働きやすい環境を整備したことで、保育の質の向上、保護者と保育所双方の利便性の向上を図ることができた。			

一般会計	No.191 病院事業会計負担、補助及び出資経費（病院事業会計運営費）	所管	健康・地域医療推進室
------	-------------------------------------	----	------------

(単位 千円)							
歳出 予算 決算	予算現額	款		項		目	
	181, 159	04款 衛生費		01項 保健衛生費		01目 保健衛生総務費	
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	149, 612					149, 612	184, 813

事業の概要	総合計画上の位置づけ	6-(1)-3市立病院の診療体制の確保		
	関連計画	ー：総合戦略		
		○：その他（ 中期事業計画（令和3年度～令和5年度） ）		
	事業期間	単年度繰返	年度から	年度まで
	目的	銚子市病院事業の安定的な運営に寄与する。		
	対象	銚子市病院事業会計		
	事業内容	病院事業会計への負担、補助及び出資金の支出(企業債元利金、経費(指定管理者への交付金を除く)、減価償却費等に対する補助金等の支出)		

事業の実績と成果	活動実績指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	病院事業会計への負担金(目標値は当初予算額)		目標値	813千円	615千円
			実績値	911千円	618千円
	病院事業会計への補助金（目標値は当初予算額）		目標値	242,085千円	188,370千円
			実績値	148,701千円	184,195千円
			目標値		
			実績値		
	事業成果指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
	目標	病院事業の安定的な運営に資する。			
	総評	負担金及び補助金を適正に支出し、病院事業の安定的な運営に寄与した。			

一般会計	No.191 病院事業会計負担、補助及び出資経費（指定管理者交付金）	所管	健康・地域医療推進室
------	------------------------------------	----	------------

(単位 千円)							
歳出予算 決算	予算現額	款		項		目	
	471,000	04款 衛生費		01項 保健衛生費		01目 保健衛生総務費	
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	461,000					461,000	260,000

事業の概要	総合計画上の位置づけ	6-(1)-1医療提供体制の確保		
	関連計画	―：総合戦略		
		○：その他（ 中期事業計画（令和3年度～令和5年度） ）		
	事業期間	単年度繰返	年度から	年度まで
	目的	銚子市病院事業の安定的な運営に寄与する。		
	対象	銚子市病院事業会計		
	事業内容	病院事業会計への補助金の支出(市立病院の指定管理者である(一財)銚子市医療公社に対し、医療従事者人件費補てん交付金を交付するための財源の補助)		

事業の実績と成果	活動実績指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	銚子市医療公社への補助金（医療従事者人件費補てん交付金）		目標値	380,000千円	320,000千円
			実績値	461,000千円	260,000千円
			目標値		
			実績値		
			目標値		
			実績値		
	事業成果指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
	目標	銚子市医療公社の安定した運営に資する。			
	総評	病院事業会計は、銚子市立病院の指定管理者に対し、人件費補てん交付金461,000千円を交付し、市立病院の安定した運営を確保した。			

一般会計	No.193 私的二次救急医療機関運営支援事業経費	所管	健康・地域医療推進室
------	---------------------------	----	------------

(単位 千円)							
歳出予算決算	予算現額	款		項		目	
	11, 297	04款 衛生費		01項 保健衛生費		01目 保健衛生総務費	
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	11, 297					11, 297	—

事業の概要	総合計画上の位置づけ	6-(1)-1医療提供体制の確保		
	関連計画	—：総合戦略		
		—：その他（ — ）		
	事業期間	単年度繰返	令和 5 年度から	年度まで
	目的	本市における二次救急医療体制を確保・継続し、地域医療の安定的な提供を図る。		
	対象	私的二次救急告示医療機関（島田総合病院、たむら記念病院）		
	事業内容	救急搬送者を受け入れた私的二次救急告示医療機関に対し、受入数に応じた補助を行う。事業費の一部は地方交付税（特別交付税）で措置される。		

事業の実績と成果	活動実績指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	私的二次救急医療機関運営費補助金		目標値	—	—
			実績値	11, 297千円	—
			目標値		
			実績値		
			目標値		
			実績値		
	事業成果指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
	目標	市内の私的二次救急医療機関における救急搬送の受入れを維持し、市民が安心できる医療の提供を目指す。			
	総評	令和5年度は、869人（見込数）の救急患者受入れに対する補助を実施したことにより、市民が安心できる地域医療の安定的な提供を図った。			

一般会計	No.208 産後ケア経費	所管	保健事業室
------	---------------	----	-------

(単位 千円)							
歳出予算決算	予算現額	款		項		目	
	1, 084	04款 衛生費		01項 保健衛生費		01目 保健衛生総務費	
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	1, 083	467			616		—

事業の概要	総合計画上の位置づけ	1-(1)-7母子保健対策の推進		
	関連計画	—：総合戦略		
		—：その他（ — ）		
	事業期間	単年度繰返	令和 5 年度から	年度まで
	目的	妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援の体制の1要素として、退院直後の母子に対して心身のケアや育児のサポートなどを実施し、産後も安心して子育てができる支援体制の確保を図る。		
	対象	本市に住所を有し、住民基本台帳に記録されている産婦（出産後1年を経過しない女子をいう。）及び乳児で、心理的ケア、保健指導、授乳指導その他の産後ケアを必要とする者		
	事業内容	短期入所型（「宿泊型」…病院等に滞在しながら産後ケアを受ける。）及び居宅訪問型（「訪問型」…助産師等が居宅に訪問した上で、産後ケアを受ける。）」を実施		

事業の実績と成果	活動実績指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	産後ケア利用者数（宿泊型）		目標値	8人	—
			実績値	19人	—
	産後ケア利用者数（訪問型）		目標値	10人	—
			実績値	7人	—
			目標値		
			実績値		
	事業成果指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
	目標	妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援の体制を確保し、誰ひとり取り残すことなく妊産婦に対し、安心・安全で健やかな妊娠・出産及び産後をサポートするといった内容が国の施策として掲げられており、産後ケアは、その一角を成すもので、市としても制度を策定し、実行することで、産後の心身の不調や不安を抱える母子を支援する。			
	総評	委託先である医療機関や助産院等と利用者の状況等を常に連携しながら、事業の実施を行ったため、産後ケア利用者数が目標値よりも増え、産後ケアが必要な方に提供できた。今後は、委託先との連携はもちろんのこと、産後ケアの質の確保と向上について努力する。			

一般会計	No.211 予防接種（小児等）経費	所管	保健事業室
------	--------------------	----	-------

(単位 千円)							
歳出予算 決算	予算現額	款		項		目	
	60,928	04款 衛生費		01項 保健衛生費		02目 予防費	
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	53,589	561	6		10,110	42,912	57,235

事業の概要	総合計画上の位置づけ	5-(2)-1主体的な健康づくりの推進	
	関連計画	ー：総合戦略	
		ー：その他（ー）	
	事業期間	単年度繰返	年度から年度まで
	目的	感染症などの発症及び重症化の予防並びにまん延の防止を図る。	
	対象	市民（予防接種法施行令の各予防接種の対象者に掲げる者）	
	事業内容	予防接種法に基づき、各種予防接種を実施する。	

事業の実績と成果	活動実績指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	各種予防接種実施者数（小児等）		目標値	6,093人	7,740人
			実績値	4,532人	5,578人
			目標値		
			実績値		
			目標値		
			実績値		
	事業成果指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
目標		銚子市医師会及びその他委託医療機関と協力し、各種予防接種事業の推進を図る。 （感染予防、発病予防、重症化予防、感染症の蔓延予防、感染症の排除・根絶等）			
総評		感染症などの発症及び重症化の予防並びにまん延の防止を図るため、予防接種法に基づき各種予防接種を実施した。今後も継続実施し公衆衛生の向上及び増進に寄与する。			

一般会計	No.220 新型コロナウイルスワクチン接種経費	所管	新型コロナウイルス ワクチン接種対策室
------	--------------------------	----	------------------------

(単位 千円)							
歳出 予算 決算	予算現額	款		項		目	
	283, 531	04款 衛生費		01項 保健衛生費		02目 予防費	
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	128, 390	128, 387				3	307, 644

事業の概要

総合計画上の位置づけ	施策体系外	
関連計画	―：総合戦略	
	―：その他（―）	
事業期間	期間限定複数年度	令和 2 年度から 令和 6 年度まで
目的	新型コロナウイルス感染症の発症を防止し、死亡者や重症者の発生を減らし、結果として新型コロナウイルス感染症のまん延の防止を図る。	
対象	春開始接種…65歳以上の者、12歳から64歳までで基礎疾患を有する者、医療従事者など 秋開始接種…初回接種（1・2回目接種）を終了した5歳以上のすべての者 その他5歳から11歳までの追加接種、生後6ヵ月から4歳までの乳幼児接種も対象	
事業内容	新型コロナウイルスワクチンについて市民への円滑な接種を実施するため、必要な体制を整備し、適切な接種を実施する。	

事業 の 実 績 と 成 果	活動実績指標項目		目標／実績	令和 5 年度	令和 4 年度
	令和5年度接種者数（春開始接種、秋開始接種など）		目標値	―	―
			実績値	延べ31, 208件	―
			目標値		
			実績値		
			目標値		
			実績値		
	事業成果指標項目		目標／実績	令和 5 年度	令和 4 年度
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
	目標	新型コロナウイルス感染症の発症を防止し、死亡者や重症者の発生を減らし、結果として新型コロナウイルス感染症のまん延の防止を図る。			
	総評	適切に予防接種を実施することにより、新型コロナウイルス感染症の発症を防止し、死亡者や重症者の発生を減らし、結果として新型コロナウイルス感染症のまん延の防止が図られた。			

一般会計	No.222 ふるさと納税関係経費	所管	観光プロモーション室
------	-------------------	----	------------

(単位 千円)							
歳出予算決算	予算現額	款		項		目	
	356,682	02款 総務費		01項 総務管理費		08目 企画費	
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	351,790				351,790		155,935

事業の概要	総合計画上の位置づけ	施策体系外	
	関連計画	○：総合戦略	
		ー：その他（ー）	
	事業期間	単年度繰返	平成 20 年度から 年度まで
	目的	全国から広く寄附を募り、返礼品を通じて地元事業者の支援を図る。	
	対象	全国の寄附者	
	事業内容	各種ふるさと納税ポータルサイトの利用や返礼品の開発により寄附者の利便性や満足度を高め、全国から広く寄附を募る。	

事業の実績と成果	活動実績指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	新規追加返礼品数		目標値	100品	70品
			実績値	93品	131品
	SNS投稿等のPR活動		目標値	50回	30回
			実績値	32回	50回
	カタログ配布数		目標値	5,000冊	500冊
			実績値	107冊	5,030冊
	事業成果指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	がんばれ銚子ふるさと応援寄附金額 (本市への応援寄附金の額)		目標値	500,000千円	300,000千円
			実績値	703,757千円	294,453千円
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
	目標	全国から広く寄附を募り、返礼品を通じて地元事業者の支援を図るため、令和5年度は寄附総額5億円を目指す。			
	総評	鮭を筆頭に、水産物の魅力的な返礼品を打ち出したことで、当初の目標を大きく上回る寄附額を達成し、地元事業者の支援を図ることができた。			

一般会計	No.233 地域おこし協力隊事業経費（観光プロモーション型）	所管	観光プロモーション室
------	---------------------------------	----	------------

(単位 千円)							
歳出予算決算	予算現額	款		項		目	
	14,354	07款 商工費		01項 商工費		04目 観光費	
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	13,244					13,244	—

事業の概要	総合計画上の位置づけ	8-(1)-2移住希望者に向けた働きかけの推進		
	関連計画	○：総合戦略		
		―：その他（ ― ）		
	事業期間	単年度繰返	令和 5 年度から	年度まで
	目的	銚子の魅力や価値を認識・再発見し、ツーリズムの推進や交流人口増加に取り組み、地域の活性化を図る。		
	対象	地域おこし協力隊制度の地域要件の対象となる都市部の人材		
	事業内容	観光プロモーション型の地域おこし協力隊の制度を活用し、ツーリズムの推進や交流人口の増加を図る人材を誘致する。		

事業の実績と成果	活動実績指標項目		目標／実績	令和 5 年度	令和 4 年度
	地域おこし協力隊員数(観光プロモーション型)		目標値	3人	—
			実績値	4人	—
			目標値		
			実績値		
			目標値		
			実績値		
	事業成果指標項目		目標／実績	令和 5 年度	令和 4 年度
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
	目標	隊員が孤立せずに地域になじむこと。 ツーリズムの推進や交流人口の増加など地域課題の解決に取り組むこと。			
	総評	いわゆる「よそ者」として移住してくる協力隊が、孤立せずに地域になじめるかがひとつの課題であったが、市民や市内事業者との交流を進めることができています。各隊員は、得意分野の知識や経験を活かし、市内外のイベントに出店・参加したり、市内の高校や店舗でのワークショップを開催するなど自ら人脈を広げ地域課題の解決に取り組んだ。			

一般会計	No.243 企業立地等促進経費	所管	産業振興室
------	------------------	----	-------

(単位 千円)							
歳出予算決算	予算現額	款		項		目	
	44,332	07款 商工費		01項 商工費		02目 商工業振興費	
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	39,026				39,026		14,515

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(3)-1地域資源を活用した産業連携の推進		
	関連計画	○：総合戦略		
		―：その他（ ― ）		
	事業期間	単年度繰返	平成 29 年度から	年度まで
	目的	企業等の新規立地や再投資を促進し、新たな雇用の創出や既存の雇用の維持を図る。		
	対象	新たに市内に対象施設（製造施設、流通加工、植物工場、陸上養殖、情報サービス、観光、宿泊施設）を立地しようとする企業等（法人・個人）や、市内に事業所を有している企業で事業拡大のために再投資をする企業等		
事業内容	・新規所有型補助金 … 市内に事業所を有していない者が、市内に新たに土地、家屋、償却資産を取得（賃借）して行う事業に対する補助（固定資産税及び都市計画税相当額を5年間、通信費の1/2を2年間、市内常時雇用者1人につき20万円を1回） ・再投資補助金 … 市内に事業所を有している者が、既に設置されている施設の他に新築、増設若しくは移転して行う事業に対する補助（固定資産税及び都市計画税相当額の1/2補助を3年間）			

事業の実績と成果	活動実績指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	新規所有型補助金交付件数		目標値	2件	1件
			実績値	2件	1件
	再投資補助金交付件数		目標値	7件	3件
			実績値	5件	3件
	事業成果指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	新規立地による雇用の創出 (新規立地した企業が新たに雇用した従業員数)		目標値	15人	―
			実績値	25人	―
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
	目標	企業の立地及び再投資を促進するとともに、雇用機会の拡大、本市の経済の活性化を図る。			
	総評	市内において新たに事業を行う者及び既存の工場等の再投資を行う者に対し、補助金を交付することによって、企業立地の促進及び雇用の確保が図られ、本市の産業振興につながっている。			

一般会計	No.244 地域おこし協力隊事業経費（起業型）	所管	産業振興室
------	--------------------------	----	-------

(単位 千円)							
歳出予算決算	予算現額	款		項		目	
	8,400	07款 商工費		01項 商工費		02目 商工業振興費	
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	5,945					5,945	9,217

事業の概要	総合計画上の位置づけ	8-(1)-2移住希望者に向けた働きかけの推進		
	関連計画	○：総合戦略		
		―：その他（―）		
	事業期間	単年度繰返	令和2年度から	令和5年度まで
	目的	本市への新たな人の流れをつくるため、都市部の人材を地域おこし協力隊として委嘱し、移住してもらう。隊員は、地域課題の解決や地域資源の活用につながる地域活動に従事。任期終了後も本市へ定住することを目指す。		
	対象	地域おこし協力隊制度の地域要件の対象となる都市部の人材		
	事業内容	各隊員がそれぞれ解決したい地域課題や活用したい地域資源を設定し、地域おこし活動や人材交流、各種スキルアップなど起業のための準備を行う。令和2年11月、令和3年1月にそれぞれ委嘱した2名の隊員が令和5年度には3年の任期を迎え、市内において起業している。起業のための支援経費200万円(1人あたり上限100万円)のほか、経費の全額が地方交付税（特別交付税）で措置される。		

事業の実績と成果	活動実績指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	地域おこし協力隊員数（起業型）		目標値	2人	2人
			実績値	2人	2人
			目標値		
			実績値		
			目標値		
			実績値		
	事業成果指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	任期を満了する地域おこし協力隊員による起業件数 ()		目標値	2件	―
			実績値	2件	―
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
	目標	地域課題の解決や地域資源の活用につながる地域活動に従事しながら、地域での起業を図り、任期終了後の本市での定住を目指す。			
	総評	よそ者として移住してくる隊員が孤立せずに地域に入り込めるかどうかが一つの課題であったが、コロナ禍も経たぬ厳しい状況にも関わらず、市民や市内事業者との交流を進めることができた。令和5年度中の任期満了に伴い、退任した元隊員も引き続き地域に残って活動を続けており、一定の成果が得られた。			

一般会計	No.246 地域おこし協力隊事業経費（魅力発信）	所管	産業振興室
------	---------------------------	----	-------

(単位 千円)							
歳出予算決算	予算現額	款		項		目	
	8,786	07款 商工費		01項 商工費		02目 商工業振興費	
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	8,317					8,317	4,957

事業の概要	総合計画上の位置づけ	8-(1)-2移住希望者に向けた働きかけの推進		
	関連計画	○：総合戦略		
		―：その他（―）		
	事業期間	単年度繰返	令和3年度から	年度まで
	目的	本市への新たな人の流れをつくるため、都市部の人材を地域おこし協力隊として委嘱し、移住してもらう。隊員は、地域課題の解決や地域資源の活用につながる地域活動に従事。任期終了後も本市へ定住することを目指す。		
	対象	地域おこし協力隊制度の地域要件の対象となる都市部の人材		
	事業内容	委嘱前の経験やキャリアを活かし、銚子の魅力発信や市内事業者の支援、銚子市へのふるさと納税の促進などに取り組む地域おこし協力隊2名を令和4年5月、令和5年1月にそれぞれ委嘱しており、令和5年度も活動を継続している。経費の全額が地方交付税（特別交付税）で措置される。		

事業の実績と成果	活動実績指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	地域おこし協力隊員数（魅力発信）		目標値	2人	1人
			実績値	2人	2人
			目標値		
			実績値		
			目標値		
			実績値		
	事業成果指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
	目標	地域課題の解決や地域資源の活用につながる地域活動に従事しながら、地域の魅力発信に取り組み、任期終了後の本市での定住を目指す。			
	総評	銚子市内で高い情報発信力を誇る銚子電鉄と連携した取組をしたことや、銚子市の産品、特に食に関する情報発信を通して、銚子市の魅力発信に一定の成果を果たしてきた。			

一般会計	No.247 地域力創造アドバイザー事業経費	所管	産業振興室
------	------------------------	----	-------

(単位 千円)							
歳出予算決算	予算現額	款		項		目	
	5,600	07款 商工費		01項 商工費		02目 商工業振興費	
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	5,600					5,600	4,600

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(3)-1地域資源を活用した産業連携の推進	
	関連計画	○：総合戦略	
		―：その他（ ― ）	
	事業期間	期間限定複数年度	令和 3 年度から 令和 5 年度まで
	目的	地域活性化の取組に関する知見やノウハウを有する外部専門家を招聘し、地域独自の魅力や価値の向上に取り組む。	
	対象	起業家、市内事業者	
	事業内容	総務省地域力創造アドバイザーを招聘し、起業家支援を通じた地域資源の活用やインバウンド事業の促進、地場産品のブラッシュアップや販路拡大を図る。なお、財源は一般財源となっているものの経費の8割は地方交付税（特別交付税）で措置される。	

事業の実績と成果	活動実績指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	起業家支援（セミナー・個別支援等）		目標値	4回	10回
			実績値	18回	12回
	インバウンド事業支援（セミナー・ワークショップ等）		目標値	2回	4回
			実績値	5回	7回
	地場産品ブラッシュアップ支援（セミナー・ワークショップ等）		目標値	30回	4回
			実績値	8回	18回
	事業成果指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	（ ）		目標値		
			実績値		
	（ ）		目標値		
			実績値		
	（ ）		目標値		
			実績値		
	事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
	目標	地域活性化の取組に関する知見やノウハウを有する外部専門家を招聘し、地域独自の魅力や価値の向上を図る。			
	総評	起業家支援、インバウンド事業の推進、地場産品ブラッシュアップ等について、専門家の知見を得たことで、地域の活性化や地域産業振興に一定の役割を果たした。			

一般会計	No.254 銚子漁港第3卸売場整備助成経費	所管	水産課
------	------------------------	----	-----

(単位 千円)							
歳出予算 決算	予算現額	款		項		目	
	187,705	06款 農林水産業費		02項 水産業費		02目 水産業振興費	
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	187,460		187,460				30,645

事業の概要	総合計画上の位置づけ		3-(1)-1漁港整備の促進	
	関連計画	○：総合戦略		
		―：その他（ ― ）		
	事業期間	期間限定複数年度	平成 31 年度から	令和 6 年度まで
	目的	銚子市漁業協同組合の第3卸売場の高度衛生管理型市場への建て替えを行うことにより、漁獲物の付加価値を高め、漁業振興による地元産業としての安定した収入を図る。		
	対象	銚子市漁業協同組合		
	事業内容	銚子市漁業協同組合の第3卸売場の高度衛生管理型市場への建て替えに係る経費について、県からの補助金を活用し補助を行う。		

事業の実績と成果	活動実績指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
			目標値		
			実績値		
			目標値		
			実績値		
			目標値		
			実績値		
	事業成果指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
	目標	補助金交付対象事業として、平成31年（令和元年）度に基本設計、令和2年度に実施設計が完了し、令和3年度から令和6年度までに建築・解体工事が継続して施工される。			
	総評	補助金交付対象事業として、令和元年度に基本設計が完了し、令和2年度には、建築・解体設計が完了した。令和3年度からの事業として、第3卸売場北側建物の解体・建築工事及び南側建物の解体・建築工事を行った。令和4年度からの繰越事業及び令和5年度事業で、継続して第3卸売場北側建物の建築工事及び南側建物の解体・建築工事を行った。			

一般会計	No.261 漁業振興等促進経費	所管	水産課
------	------------------	----	-----

(単位 千円)							
歳出予算 決算	予算現額	款		項		目	
	332, 281	06款 農林水産業費		02項 水産業費		02目 水産業振興費	
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	281, 591				281, 563	28	327, 063

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(1)-6その他【水産業振興】		
	関連計画	―：総合戦略		
		―：その他（ ― ）		
	事業期間	単年度繰返	令和 4 年度から	年度まで
	目的	本市の漁業振興を図るために事業を行う者に対し、銚子市漁業振興基金を活用し、漁業と洋上風力発電事業との協調・共生・漁業振興などの取組を促進させる。		
	対象	銚子市漁業協同組合		
	事業内容	漁業と洋上風力発電事業との協調・共生・漁業振興などの取組事業を行い、洋上風力発電の稼働後においても、これまで以上に漁業を繁栄させ営んでいける環境を整える。		

事業の実績と成果	活動実績指標項目		目標／実績	令和 5 年度	令和 4 年度
			目標値		
			実績値		
			目標値		
			実績値		
			目標値		
			実績値		
	事業成果指標項目		目標／実績	令和 5 年度	令和 4 年度
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
	目標	本市の漁業の振興を図るために事業を行う者に対し、銚子市漁業振興基金を活用し、漁業と洋上風力発電事業との協調・共生・漁業振興などの取組を促進させる。主な取り組みとして、組合員支援事業（燃料助成、漁船保険料助成、漁獲共済掛金助成及び漁業権行使料助成）を行う。			
	総評	令和5年度の取り組みとして、組合員支援事業（燃料助成、漁船保険料助成、漁獲共済掛金助成及び漁業権行使料助成）、施設整備事業及び漁場実態調査事業を行った。			

一般会計	No.262 銚子漁港整備経費	所管	水産課
------	-----------------	----	-----

(単位 千円)							
歳出予算 決算	予算現額	款		項		目	
	312, 593	06款 農林水産業費		02項 水産業費		03目 漁港建設費	
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	140, 328			121, 700		18, 628	87, 738

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(1)-1漁港整備の促進	
	関連計画	○：総合戦略	
		―：その他（ ― ）	
	事業期間	単年度繰返	年度から 年度まで
	目的	国の定める特定漁港漁場整備事業計画に基づき銚子漁港を整備することで、地元水産業の振興を図る。	
	対象	千葉県	
	事業内容	国の定める特定漁港漁場整備事業計画に基づき、市及び地元漁業者などの意見を取り入れながら、漁港管理者である千葉県が行う漁港整備事業の費用の一部を地元負担として市が負担する。	

事業の実績と成果	活動実績指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	銚子漁港建設費負担金		目標値	―	―
			実績値	140, 328千円	87, 738千円
			目標値		
			実績値		
			目標値		
			実績値		
	事業成果指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
	目標	特定漁港漁場整備事業計画に基づき千葉県が実施する事業であり、令和5年度は漁港内の静穏度を確保するための沖南防波堤関連整備や-6.0m泊地浚渫など、大型船や廻船が入港可能な漁港の機能確保及び防災機能の強化を継続して図っていく。			
	総評	令和5年度は漁港内の静穏度を確保するための沖南防波堤関連整備のほか、東突堤整備、-7.5m岸壁整備や泊地の浚渫工事などが行われた。今後も大型船や廻船が入港可能な漁港の機能確保及び防災機能強化を継続して実施する。			

一般会計	No.263 外川漁港整備経費	所管	水産課
------	-----------------	----	-----

(単位 千円)							
歳出予算 決算	予算現額	款		項		目	
	83, 870	06款 農林水産業費		02項 水産業費		03目 漁港建設費	
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	43, 697			39, 100		4, 597	25, 043

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(1)-1漁港整備の促進	
	関連計画	○：総合戦略	
		ー：その他（ー）	
	事業期間	単年度繰返	年度から年度まで
	目的	市及び地元漁業者の意見を取り入れながら外川漁港を整備することで、地元水産業の振興を図る。	
	対象	千葉県	
	事業内容	漁港管理者である千葉県が行う漁港整備事業の費用の一部を地元負担として市が負担する。	

事業の実績と成果

活動実績指標項目		目標／実績	令和 5 年度	令和 4 年度
外川漁港建設費負担金		目標値	—	—
		実績値	43, 697千円	25, 043千円
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目		目標／実績	令和 5 年度	令和 4 年度
()		目標値		
		実績値		
()		目標値		
		実績値		
()		目標値		
		実績値		
事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
目標	千葉県が実施する事業であり、令和5年度は航路・泊地浚渫や臨港道路などの維持修繕を行う。併せて、地元船が安全に入港できるよう漁港の機能確保を図っていく。			
総評	令和5年度は航路・泊地浚渫を行った。今後も継続して地元船が安全に入港できるよう漁港の機能確保を図っていく。			

一般会計	No.271「輝け！ちばの園芸」次世代産地整備支援経費	所管	農産課
------	-----------------------------	----	-----

(単位 千円)							
歳出予算決算	予算現額	款		項		目	
	35,240	06款 農林水産業費		01項 農業費		03目 農業振興費	
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	21,858		21,858			5,058	

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(2)-1農業生産の基盤整備	
	関連計画	○：総合戦略	
		―：その他（ ― ）	
	事業期間	単年度繰返	年度から 年度まで
	目的	園芸産地の生産力を強化・拡大するために、パイプハウスなどの施設や省力化・省エネルギー型機械及び装置類の導入、老朽化した温室などの改修整備と、環境モニタリング装置やドローンなどのスマート機器の導入を実施しようとする農業者へ経費の一部補助を行い、生産性の向上を図る。	
	対象	認定農業者	
	事業内容	パイプハウスなどの農業用施設や野菜洗浄機など省力化機械の導入費用、鉄骨ハウスの骨組やフィルム張替の改修費用及び環境モニタリング装置やドローンなどのスマート機器導入費用を補助する。	

事業の実績と成果	活動実績指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	省力機械等の導入		目標値	28件	9件
			実績値	28件	9件
	園芸生産施設の導入		目標値	1件	―
			実績値	1件	―
	施設の改修及び省エネルギー型装置等の更新		目標値	3件	―
			実績値	1件	―
	事業成果指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
	目標	農地の耕作や農作物の出荷を補助するための農業用機械などの導入を支援することにより、農産物の単位面積あたりの収穫量の増加及び作業効率の向上を図る。			
	総評	令和5年度は省力化のための機械導入や業務効率化のためのスマート機器の導入に関する補助を行い、併せて、農業用施設の改修に対する補助も実施することで、園芸産地の生産力強化・拡大を進め、生産性の向上を図った。			

一般会計	No.283 広域営農団地農道整備経費（地方創生道整備推進交付金事業）	所管	農産課
------	-------------------------------------	----	-----

(単位 千円)							
歳出予算 決算	予算現額	款		項		目	
	30,145	06款 農林水産業費		01項 農業費		05目 農地費	
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	22,816			20,100		2,716	23,459

事業の概要	総合計画上の位置づけ	3-(2)-1農業生産の基盤整備		
	関連計画	○：総合戦略		
		―：その他（ ― ）		
	事業期間	期間限定複数年度	平成 4 年度から 令和 5 年度まで	
	目的	流通体系の柱となる基幹農道を計画的に整備し、生産流通の合理化と農産物の効率的な輸送による輸送費の削減及び農産物の痛みの防止などを図る。		
	対象	千葉県		
	事業内容	県が実施する広域農道の整備に対し、費用を負担する。【市町村分担金負担割合：銚子市87.65%、旭市7.48%、東庄町4.87%】		

事業の実績と成果

活動実績指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
()		目標値		
		実績値		
()		目標値		
		実績値		
()		目標値		
		実績値		
事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
目標	令和5年度は全線の完成に向けた工事を実施する。（県営事業）			
総評	広域農道の整備区間1.3kmが完成し、令和6年3月21日に供用開始した。これにより、広域農道は全線開通となったため、令和5年度をもって事業は完了した。			

一般会計	No.288 農業施設災害復旧経費	所管	農産課
------	-------------------	----	-----

(単位 千円)							
歳出予算 決算	予算現額	款		項		目	
	47,000	11款 災害復旧費		03項 農林水産業施設災害復旧費		01目 農業施設災害復旧費	
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	13,285			6,700		6,585	—

事業の概要	総合計画上の位置づけ	施策体系外	
	関連計画	―：総合戦略	
		―：その他（ ― ）	
	事業期間	期間限定複数年度	令和 5 年度から 令和 6 年度まで
	目的	広域営農団地農道2号橋梁において、令和5年9月8日の台風第13号の豪雨により法面が崩落し、同時に排水路も崩落したことで、橋台部前面の土砂が大規模に流出したため、法面災害復旧工事を施工する。	
	対象	農業生産者、道路利用者	
事業内容	国の農地及び農業用施設災害復旧事業を活用して、被災箇所盛土や排水路の災害復旧を早期に実施する。また、被害拡大の防止のため、仮設排水路を設置する応急仮工事を施工する。 【繰越明許費 17,000千円】		

事業の実績と成果

活動実績指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
()		目標値		
		実績値		
()		目標値		
		実績値		
()		目標値		
		実績値		
事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
目標	広域農道の保全管理を図るため、被災箇所の原形復旧を実施する。			
総評	令和5年度は国の災害復旧事業査定額が確定し、被害拡大の防止のため、仮設排水路を設置する応急仮工事を実施した。引き続き、災害査定内容の工法に則り被災箇所の復旧工事を施工している。			

一般会計	No.292 危険コンクリートブロック塀等撤去費補助経費	所管	都市整備室
------	------------------------------	----	-------

(単位 千円)							
歳出予算決算	予算現額	款		項		目	
	2, 000	08款 土木費		01項 土木管理費		01目 土木総務費	
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	125	62	30		33		—

事業の概要	総合計画上の位置づけ	6-(2)-3防災対策の充実		
	関連計画	ー：総合戦略		
		○：その他（ 銚子市耐震改修促進計画 ）		
	事業期間	単年度繰返	令和 5 年度から	年度まで
	目的	危険なブロック塀等の倒壊から市民の生命及び身体を保護するとともに、避難所への経路を確保する。		
	対象	銚子市耐震改修促進計画に位置付けられた避難路（道路等）に面している危険なブロック塀等を所有する市民		
	事業内容	銚子市耐震改修促進計画に位置づけられた避難路（道路等）に面している危険なブロック塀等を所有する市民に対し、当該ブロック塀等の撤去に要する費用の一部を補助する。		

事業の実績と成果	活動実績指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	危険なブロック塀等の撤去		目標値	20件	—
			実績値	2件	—
			目標値		
			実績値		
			目標値		
			実績値		
	事業成果指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
	目標	危険コンクリートブロック塀等の撤去に要する費用の一部を補助し、危険なブロック塀等の倒壊から市民の生命及び身体を保護するとともに、避難所への経路を確保し、災害に強いまちづくりの実現に寄与する。			
	総評	令和5年度から開始した補助制度であるが、この補助制度を市民に広く周知し、理解してもらうためには、一定の時間を要するものとする。引き続き、市民に対し補助制度の周知を図っていき、災害に強いまちづくりの実現の推進に努める。			

一般会計	No.294 空家等対策経費	所管	都市整備室
------	----------------	----	-------

(単位 千円)							
歳出予算決算	予算現額	款		項		目	
	3,370	08款 土木費		05項 都市計画費		01目 都市計画総務費	
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	1,159	500				659	2,014

事業の概要	総合計画上の位置づけ	5-(5)-3空家対策の推進		
	関連計画	―：総合戦略		
		○：その他（ 銚子市空家等対策計画 ）		
	事業期間	単年度繰返	平成 28 年度から	年度まで
	目的	適切な管理が行われていない空家等が防災、衛生、景観、生活環境面などにおいて近隣住民に影響を及ぼしていることに鑑み、住民の生命、身体又は財産を保護するとともに、生活環境の保全を図り、併せて空家等の利活用を促進するため、本市における空家等に関する施策を総合的かつ計画的に推進する。		
	対象	市内の空き家		
	事業内容	銚子市空家等対策計画に基づき、市内の空家等の実態を把握し、空家等の適切な管理や利活用を指導するとともに、危険空家に関しては特定空家等の認定や除却費用の一部を補助することで解体を促し、空家等対策を推進する。		

事業の実績と成果	活動実績指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	空き家に関する所有者からの相談		目標値	―	―
			実績値	123件	93件
	危険空家等除却事業補助件数		目標値	3件	2件
			実績値	1件	2件
			目標値		
			実績値		
	事業成果指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
	目標	空き家の実態把握を進めるとともに、市民からの相談に適切に対応するなど、空き家の適正管理を推進する。			
	総評	市民からの空き家に関する相談等の対応を行い、空家等の適正管理を進めた。新たに生じた空家等について、水道閉栓情報をもとに実態調査を行い、空き家の実態把握に努めた。			

一般会計	No.295 下水道事業会計負担、補助及び出資経費	所管	都市整備室
------	---------------------------	----	-------

(単位 千円)

歳出予算 決算	予算現額	款		項		目	
	906, 941	08款 土木費		05項 都市計画費		01目 都市計画総務費	
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	906, 941				440	906, 501	852, 736

事業の概要	総合計画上の位置づけ	7-(7)-5その他【下水道】	
	関連計画	―：総合戦略	
		―：その他（ ）	
	事業期間	単年度繰返	年度から 年度まで
	目的	下水道事業の経営の健全化及び経営基盤の強化	
	対象	銚子市下水道事業	
	事業内容	下水道事業における雨水処理、分流式下水道、企業債の償還に要する経費等について、公共下水道事業繰出基準に基づき一般会計から繰出しを行う。	

事業の実績と成果	活動実績指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	下水道事業会計負担金（目標値は当初予算額）		目標値	24,645千円	24,644千円
			実績値	24,645千円	24,644千円
	下水道事業会計補助金（目標値は当初予算額）		目標値	507,859千円	505,485千円
			実績値	462,859千円	452,169千円
	下水道事業会計出資金（目標値は当初予算額）		目標値	419,437千円	375,923千円
			実績値	419,437千円	375,923千円
	事業成果指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
	目標	公共下水道事業繰出基準に基づき、適正な支出に務める。			
	総評	公共下水道事業繰出基準に基づき、一般会計で負担すべき繰出しについては適正に支出した。また、下水道事業の経営の安定化を図るため、基準外の繰出金として補助金（39,480千円）及び出資金（315,264千円）を支出した。			

一般会計	No.296 立地適正化計画策定経費	所管	都市整備室
------	--------------------	----	-------

(単位 千円)							
歳出予算決算	予算現額	款		項		目	
	11,405	08款 土木費		05項 都市計画費		01目 都市計画総務費	
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	11,383	5,201				6,182	9,517

事業の概要	総合計画上の位置づけ	7-(3)-1都市の賑わいと活力を創出する都市づくりの推進			
	関連計画	ー：総合戦略			
		○：その他（ 銚子市都市計画マスタープラン ）			
	事業期間	期間限定複数年度	令和 4 年度から 令和 5 年度まで		
	目的	人口減少が進行している本市において、利便性を保ち、住みやすく、将来にわたって持続可能なまちづくりの指標となる計画を策定する。			
	対象	市民			
	事業内容	本市の現状などから、人口密度を一定程度維持していくための「居住誘導区域」と、医療・福祉・商業などの施設を集約する「都市機能誘導区域」を設定し、中・長期的に居住や都市機能の集約をゆるやかに促していく計画を策定する。			

事業の実績と成果	活動実績指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	銚子市立地適正化計画策定委員会の開催		目標値	4回	3回
			実績値	2回	2回
	市民説明機会の確保、パブリックコメントの実施		目標値	2回	—
			実績値	1回	—
			目標値		
			実績値		
	事業成果指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
	目標	人口減少が進行している本市において、利便性を保ち、住みやすく、将来にわたって持続可能なまちづくりの指標となる計画を策定する。			
	総評	人口密度を一定程度維持していくための「居住誘導区域」と、医療・福祉・商業などの施設を集約する「都市機能誘導区域」を複数か所設定し、これらを公共交通等で結ぶ「コンパクト・プラス・ネットワーク」により、中・長期的に居住や都市機能の集約をゆるやかに促していく「銚子市立地適正化計画」を令和4年度から令和5年度にかけて策定した。			

一般会計	No.302 市営住宅集約経費	所管	都市整備室
------	-----------------	----	-------

(単位 千円)							
歳出予算決算	予算現額	款		項		目	
	6, 971	08款 土木費		06項 住宅費		01目 住宅管理費	
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	6, 930					6, 930	7, 810

事業の概要	総合計画上の位置づけ	5-(5)-1住宅セーフティーネットとしての市営住宅の適正な配置と管理		
	関連計画	ー：総合戦略		
		ー：その他（		
	事業期間	期間限定複数年度	平成 28 年度から	令和 5 年度まで
	目的	団地内で点在していた入居者を集約することにより、施設の維持管理の効率化を図り、入居者の住環境及び防犯面を向上させる。また、集約後の跡地の利活用を図る。		
	対象	三崎団地市営住宅		
事業内容	三崎団地を4つの街区とし、そのうち2つの街区に入居者を集約する。 令和3年度に集約対象である入居者の移転が完了し、令和4年度に現況測量、令和5年度に境界確定測量を実施した。 集約化が完了した一部の跡地の利活用については、全庁的に協議して市の方針を定める。			

事業の実績と成果	活動実績指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	市営住宅用地測量業務		目標値	1件	1件
			実績値	1件	1件
			目標値		
			実績値		
			目標値		
			実績値		
	事業成果指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
	目標	団地内で点在していた入居者を集約することにより、施設の維持管理の効率化を図り、入居者の住環境及び防犯面を向上させる。また、集約後の跡地の利活用を図る。			
	総評	入居者の移転が完了し、令和5年度で測量業務も完了した。今後は、跡地の利活用についての検討と建物等の除却などの事務を進めていく。			

一般会計	No.306 市道改良整備経費	所管	土木室
------	-----------------	----	-----

(単位 千円)							
歳出予算 決算	予算現額	款		項		目	
	119, 171	08款 土木費		02項 道路橋りょう費		03目 道路橋りょう新設改良費	
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	119, 164			93, 000		26, 164	100, 676

事業の概要	総合計画上の位置づけ	7-(4)-1市道（生活道路）などの整備	
	関連計画	―：総合戦略	
		―：その他（ ）	
	事業期間	単年度繰返	年度から 年度まで
	目的	安全・安心で快適な道路環境の提供	
	対象	市民・道路利用者	
	事業内容	市民からの整備要望や道路パトロールなどに基づき、道路改良や側溝改良などの整備を計画的に実施し、道路環境の改善を進める。	

事業の実績と成果	活動実績指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	市道改良工事（緊急対応工事除く）		目標値	10件	6件
			実績値	6件	6件
			目標値		
			実績値		
			目標値		
			実績値		
	事業成果指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
	目標	市民からの整備要望等に基づき、道路改良や側溝改良等の整備を計画的に実施し、道路環境の改善を進める。			
	総評	市道改良工事、側溝改良工事を実施するとともに、市民等からの整備要望等により、側溝補修や舗装補修等を実施し、道路を安全に利用するための整備を行った。			

一般会計	No.307 交通安全施設整備経費	所管	土木室
------	-------------------	----	-----

(単位 千円)							
歳出予算 決算	予算現額	款		項		目	
	15,000	08款 土木費		02項 道路橋りょう費		03目 道路橋りょう新設改良費	
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	12,174				4,672	7,502	11,984

事業の概要	総合計画上の位置づけ	7-(4)-1市道（生活道路）などの整備		
	関連計画	―：総合戦略		
		―：その他（ ）		
	事業期間	単年度繰返	年度から	年度まで
	目的	安全・安心で快適な道路環境の提供		
	対象	市民・道路利用者		
	事業内容	警察や県、市等が現地で行う共同現地診断や市民からの要望に基づき、交通安全施設（道路反射鏡、防護柵、区画線など）を計画的に整備し、安心・安全な道路環境を確保する。		

事業の実績と成果	活動実績指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	交通安全施設整備工事		目標値	―	―
			実績値	5件	5件
			目標値		
			実績値		
			目標値		
			実績値		
	事業成果指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
	目標	警察や県、市等が現地で行う共同現地診断や市民からの要望に基づき、交通安全施設（道路反射鏡、防護柵、区画線など）を計画的に整備し、安心・安全な道路環境を確保する。			
	総評	道路反射鏡、防護柵、区画線の設置等、交通安全施設の整備を行った。			

一般会計	No.308 小浜地区地域排水整備経費	所管	土木室
------	---------------------	----	-----

(単位 千円)							
歳出予算 決算	予算現額	款		項		目	
	11,758	08款 土木費		02項 道路橋りょう費		03目 道路橋りょう新設改良費	
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	11,758			10,500		1,258	—

事業の概要	総合計画上の位置づけ	7-(4)-1市道（生活道路）などの整備		
	関連計画	―：総合戦略		
		―：その他（ ）		
	事業期間	単年度繰返	平成 15 年度から	年度まで
	目的	安全・安心で快適な道路環境の提供		
	対象	市民・道路利用者		
	事業内容	国道126号に県が布設整備した小浜・親田地区の幹線の排水施設に市が排水施設（支線）を整備し、接続する。		

事業の実績と成果	活動実績指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	排水整備工事		目標値	1件	—
			実績値	1件	—
			目標値		
			実績値		
			目標値		
			実績値		
	事業成果指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
	目標	小浜・親田地区の排水施設を計画的に整備し、道路冠水や家屋などの浸水等の被害を防止する。			
	総評	親田地区市道30197号線の排水整備工事を実施した。（平成29年度から令和5年度までに124m整備）			

一般会計	No.312 河川整備経費	所管	土木室
------	---------------	----	-----

(単位 千円)							
歳出予算 決算	予算現額	款		項		目	
	113, 975	08款 土木費		03項 河川海岸費		01目 河川維持改良費	
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	106, 481			84, 500		21, 981	51, 767

事業の概要	総合計画上の位置づけ	7-(4)-1市道（生活道路）などの整備	
	関連計画	―：総合戦略	
		―：その他（ ）	
	事業期間	単年度繰返	年度から 年度まで
	目的	市が管理する河川の護岸の新設や老朽化した護岸の改修等の工事を計画的に整備し、護岸の損壊を防止する。また、計画的に浚渫工事を実施することにより、河川流量を確保し、豪雨時の氾濫を防止する。	
	対象	市民・河川及び水路利用者	
	事業内容	市が管理する河川の護岸整備と浚渫工事を計画的に実施し、豪雨時における河川の氾濫を防止する。	

事業の実績と成果	活動実績指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	護岸改修工事実施河川数		目標値	4河川	1河川
			実績値	6河川	3河川
	河川浚渫工事実施河川数		目標値	8河川	8河川
			実績値	9河川	8河川
			目標値		
			実績値		
	事業成果指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
	目標	護岸整備や浚渫工事を行い、豪雨時における河川の氾濫を防止する。			
	総評	災害時における河川の氾濫に備え、滑川、西部川、境川、水神川、逆川及び磯見川の老朽化した護岸の改修工事や道面川、西郡川、川端川、清水川、高田川、八幡川、滑川、小畑川及び佐原川の土砂を取り除く浚渫工事を実施した。			

一般会計	No.319 斎場長寿命化事業経費	所管	生活環境課
------	-------------------	----	-------

(単位 千円)							
歳出予算決算	予算現額	款		項		目	
	40,410	04款 衛生費		01項 保健衛生費		04目 斎場費	
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	36,971			32,800		4,171	—

事業の概要	総合計画上の位置づけ		7-(2)-3公衆衛生対策の推進	
	関連計画	—：総合戦略		
		○：その他（ 銚子市公共施設等総合管理計画【個別施設計画編第2期】 ）		
	事業期間	期間限定複数年度	令和 5 年度から 令和 9 年度まで	
	目的	銚子市公共施設等総合管理計画【個別施設計画編第2期】に基づき、銚子市斎場の建物及び設備の適正な維持管理及び長寿命化を図る。		
	対象	銚子市斎場		
	事業内容	銚子市斎場の建物及び設備について、計画的に点検を行い、長寿命化を踏まえた改修工事を行う。		

事業の実績と成果	活動実績指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	斎場屋根及び外壁改修工事		目標値	1件	—
			実績値	1件	—
	斎場設備改修工事		目標値	3件	—
			実績値	3件	—
			目標値		
			実績値		
	事業成果指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
	目標	斎場は築30年以上経過するなか、代替施設がないため計画的に点検・整備を行い、施設の長寿命化を図る。			
	総評	令和5年度に予定されていた屋根及び外壁、設備改修工事等を行い、長寿命化を図ることができた。			

一般会計	No.330 広域ごみ処理施設運営経費	所管	生活環境課
------	---------------------	----	-------

(単位 千円)							
歳出予算 決算	予算現額	款		項		目	
	236, 400	04款 衛生費		02項 清掃費		01目 清掃総務費	
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	236, 400					236, 400	248, 986

事業の概要	総合計画上の位置づけ	7-(1)-2ごみ処理施設、最終処分場の広域化		
	関連計画	ー：総合戦略		
		○：その他（一般廃棄物（ごみ）処理基本計画）		
	事業期間	単年度繰返	年度から	年度まで
	目的	ごみ処理施設、最終処分場の広域化によって効率的なごみ処理を促進し、ごみ処理費用を軽減するとともに環境保全を図る。		
	対象	市民		
	事業内容	東総地区広域市町村圏事務組合（構成市：銚子市・旭市・匝瑳市）で建設した東総地区クリーンセンター及び広域最終処分場の管理運営費用を負担する。 【各市負担率】銚子市 38.971827%、旭市 41.894389%、匝瑳市 19.133785% ※毎年度、各市から排出される前年のごみ量をベースに各市の負担率が定められる。		

事業の実績と成果

活動実績指標項目		目標／実績	令和 5 年度	令和 4 年度
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
		目標値		
		実績値		
事業成果指標項目		目標／実績	令和 5 年度	令和 4 年度
()		目標値		
		実績値		
()		目標値		
		実績値		
()		目標値		
		実績値		
事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
目標	東総地区広域市町村圏事務組合において東総地区クリーンセンター及び広域最終処分場の管理運営を行い、スケールメリットを活かした効率的なごみ処理による処理費用の軽減及び環境保全対策を図る。			
総評	スケールメリットを活かした効率的なごみ処理による処理費用の軽減及び環境保全対策を図った。			

一般会計	No.331 ゴミ収集経費	所管	生活環境課
------	---------------	----	-------

(単位 千円)							
歳出予算決算	予算現額	款		項		目	
	237, 821	04款 衛生費		02項 清掃費		02目 ごみ収集費	
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	229, 430				124, 782	104, 648	205, 722

事業の概要	総合計画上の位置づけ	7-(1)-1ごみの減量化・資源ごみ分別の徹底		
	関連計画	ー：総合戦略		
		○：その他（一般廃棄物（ごみ）処理基本計画）		
	事業期間	単年度繰返	年度から	年度まで
	目的	市内で発生する一般廃棄物の適正な処理及び地域の清潔を保持することにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図り、もって健康で快適な市民生活を確保する。		
	対象	市民		
	事業内容	市内ごみステーションに排出された家庭ごみやごみゼロなどの地域清掃で排出されたごみを収集し、ごみ処理施設に運搬する。		

事業の実績と成果	活動実績指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	ステーションごみ収集量		目標値	13, 580t	—
			実績値	13242. 57t	—
	ステーション資源ごみ収集量		目標値	2, 054t	—
			実績値	1934. 21t	—
	地域一斉清掃参加案内配布部数		目標値	17, 000部	—
			実績値	225部	—
	事業成果指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	トン当たりステーションごみ収集費用 （ステーションごみの収集量1トン当たり収集費用）		目標値	14, 109円	—
			実績値	14, 437円	—
	資源ごみ収集比率 （ステーション収集したごみ量のうち資源ごみ量の占める割合）		目標値	15. 0%	—
			実績値	14. 6%	—
	（		目標値		
			実績値		
	事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
	目標	市内で発生する一般廃棄物の適正な処理及び地域の清潔を保持することにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図り、もって健康で快適な市民生活を確保する。			
	総評	一般廃棄物を適正に処理し、地域の清潔な環境を保持することにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図った。			

一般会計	No.332 旧銚子市清掃センター解体経費	所管	生活環境課
------	-----------------------	----	-------

(単位 千円)							
歳出予算 決算	予算現額	款		項		目	
	616, 097	04款 衛生費		02項 清掃費		03目 ごみ処理施設費	
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	615, 141	159, 497		433, 700	21, 944		221, 353

事業の概要	総合計画上の位置づけ	7-(1)-2ごみ処理施設、最終処分場の広域化			
	関連計画	ー：総合戦略			
		ー：その他（ ）			
	事業期間	期間限定複数年度	令和 3 年度から 令和 5 年度まで		
	目的	広域ごみ処理施設（東総地区クリーンセンター）の稼働開始に伴い、稼働停止した旧銚子市清掃センターを解体する。			
	対象	旧銚子市清掃センター			
	事業内容	令和3年度から令和5年度の継続事業として、旧銚子市清掃センターの解体を国の循環型社会形成推進交付金を活用して実施する。			

事業の実績と成果	活動実績指標項目		目標／実績	令和 5 年度	令和 4 年度
	解体工事の進捗（工事の出来高）		目標値	100%	29.8%
			実績値	100%	29.8%
			目標値		
			実績値		
			目標値		
			実績値		
	事業成果指標項目		目標／実績	令和 5 年度	令和 4 年度
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
	目標	近隣環境に配慮しつつ、計画的かつ効率的な工事を進める。			
	総評	令和5年度は、焼却施設の解体を実施し、令和6年3月15日をもって全ての解体工事が完了した。国の循環型社会形成推進交付金や交付税措置のある有利な起債を活用し、解体を実施することで費用負担の軽減と早期の環境整備を図った。			

一般会計	No.339 消防団員経費	所管	消防総務課
------	---------------	----	-------

(単位 千円)							
歳出予算 決算	予算現額	款		項		目	
	56,703	09款 消防費		01項 消防費		02目 非常備消防費	
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	52,226		767			51,459	38,189

事業の概要	総合計画上の位置づけ	6-(2)-5消防団員の確保及び組織の強化		
	関連計画	○：総合戦略		
		ー：その他（ ）		
	事業期間	単年度繰返	年度から	年度まで
	目的	消防団員の確保を含め、消防団活動の円滑化を図る。		
	対象	消防団員		
	事業内容	消防団員の消防活動に必要な経費を支弁する。令和5年度は、消防団員確保のため年額報酬の引き上げや出動報酬の創設など処遇改善を図っている。		

事業の実績と成果	活動実績指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	消防団員数（4月1日現在）		目標値	555人	579人
			実績値	397人	448人
	火災・風水害出動団員延人数（年度）		目標値	—	—
			実績値	434人	147人
	訓練・警戒出動団員延人数（年度）		目標値	—	—
			実績値	6,658人	7,681人
	事業成果指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	（ ）		目標値		
			実績値		
	（ ）		目標値		
			実績値		
	（ ）		目標値		
			実績値		
	事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
	目標	災害対応業務であることから、指標の設定は困難であり、事業成果指標の目標値の記載は行っていない。			
	総評	消防団員確保のため、年額報酬の引き上げや出動報酬の創設など、消防団の活性化を図った。			

一般会計	No.343 消防庫新築経費	所管	消防総務課
------	----------------	----	-------

(単位 千円)							
歳出予算 決算	予算現額	款		項		目	
	37,883	09款 消防費		01項 消防費		03目 消防施設費	
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	34,382		2,287	32,000	30	65	265

事業の概要	総合計画上の位置づけ	6-(2)-4消防力の充実・強化		
	関連計画	ー：総合戦略		
		○：その他（ 銚子市消防団施設の新築に関する年次計画 ）		
	事業期間	単年度繰返	平成 22 年度から	年度まで
	目的	老朽化した消防庫を新築し、消防体制の万全を図る。		
	対象	消防庫（38箇所）、消防団員		
	事業内容	老朽した消防庫について、「銚子市消防団施設の新築に関する年次計画」に基づき新築し、消防体制の万全を図る。		

事業の実績と成果	活動実績指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	第2分団第7部（黒生町）消防庫新築		目標値	年度内完了	—
			実績値	令和6年3月完了	—
			目標値		
			実績値		
			目標値		
			実績値		
	事業成果指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
	目標	消防体制を確保するため、計画的に消防庫の新築事業を実施する。			
	総評	令和5年度は、第2分団第7部消防庫の設計業務（令和4年度からの繰越明許）及び新築工事を行った。事業の実施にあたり、女性消防団員の活動を支援するための設備を整えるなど地域防災力の強化を図るため、緊急防災・減災事業債を活用し、設備の充実と費用負担の軽減を図ることができた。			

一般会計	No.348 西部分署整備経費	所管	消防総務課
------	-----------------	----	-------

(単位 千円)							
歳出予算 決算	予算現額	款		項		目	
	103, 187	09款 消防費		01項 消防費		03目 消防施設費	
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	93, 407			93, 200		207	3, 025

事業の概要	総合計画上の位置づけ	6-(2)-4消防力の充実・強化	
	関連計画	ー：総合戦略	
		○：その他（ 銚子市公共施設等総合管理計画【個別施設計画編第2期】 ）	
	事業期間	期間限定複数年度	令和 4 年度から 令和 5 年度まで
	目的	西部分署の施設の機能性向上及び長寿命化と併せて、新型コロナウイルス感染症などの感染症流行下であっても業務の継続が可能な施設の整備を行う。	
	対象	消防施設・消防職員	
	事業内容	築30年以上が経過する西部分署の屋根・外壁などを改修し、防災拠点である施設の機能性向上及び長寿命化を図る。併せて、緊急防災・減災事業債を活用し、仮眠室の個室化や救急消毒室整備を行い、新型コロナウイルス感染症などの感染症対策を図る。	

事業の実績と成果	活動実績指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	西部分署の整備		目標値	年度内完了	年度内完了
			実績値	令和6年3月完了	未完了
			目標値		
			実績値		
			目標値		
			実績値		
	事業成果指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
	目標	西部分署の施設の機能性向上及び長寿命化と併せて、新型コロナウイルス感染症などの感染症流行下であっても業務の継続が可能な施設の整備を行う。			
	総評	令和4年度から繰り越した改修工事を実施し、施設の機能性向上及び長寿命化を図った。			

一般会計	No.354 小学校施設大規模改修経費	所管	教育総務室
------	---------------------	----	-------

(単位 千円)							
歳出予算 決算	予算現額	款		項		目	
	215,760	10款 教育費		02項 小学校費		01目 小学校管理費	
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	202,688	101,000		97,700		3,988	152,518

事業の概要	総合計画上の位置づけ	2-(1)-3教育環境の整備	
	関連計画	―：総合戦略	
		―：その他（ ）	
	事業期間	単年度繰返	年度から 年度まで
	目的	小学校施設の多くは建築から40年以上が経過し、老朽化が進んでいる。定期的な維持管理を行い、劣化を予防し本来の機能の維持を図る。	
	対象	小学校施設及びそこに通う児童、教職員	
	事業内容	老朽化している施設の大規模改造工事やトイレの洋式化、防災機能強化対策工事などを実施する。令和5年度は、春日小学校の普通教室棟の大規模改修工事を実施する。	

事業の実績と成果	活動実績指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	工事实施件数		目標値	1校	1校
			実績値	1校	1校
			目標値		
			実績値		
			目標値		
			実績値		
	事業成果指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
	目標	老朽化している施設の大規模改造工事（春日小学校普通教室棟外壁、防水、内装等）を実施し、良好な教育環境の整備を図る。			
	総評	老朽化している施設の大規模改造工事（春日小学校普通教室棟外壁、防水、内装等）を実施し、良好な教育環境の整備を図った。			

一般会計	No.358 （新）銚子中学校整備経費	所管	教育総務室
------	---------------------	----	-------

(単位 千円)							
歳出予算決算	予算現額	款		項		目	
	68,781	10款 教育費		03項 中学校費		03目 中学校建設費	
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	68,771			63,500		5,271	28,162

事業の概要	総合計画上の位置づけ	2-(1)-3教育環境の整備	
	関連計画	ー：総合戦略	
		ー：その他（ ）	
	事業期間	期間限定複数年度	令和 4 年度から 令和 8 年度まで
	目的	令和9年4月に（新）銚子中学校を開校する。開校に向け施設の建設や改修などを実施し、安全で良好な教育環境整備を図る。	
	対象	（新）銚子中学校及びそこに通う生徒、教職員	
	事業内容	校舎を新築するほか、統合準備委員会を設置し学用品や教育課程等を決定する。 令和5年度は銚子中学校整備事業実施設計業務を実施する。	

事業の実績と成果	活動実績指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	銚子中学校統合準備委員会開催数		目標値	—	3回
			実績値	—	4回
			目標値		
			実績値		
			目標値		
			実績値		
	事業成果指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
	目標	銚子中学校校舎新築及び屋内運動場大規模改造実施設計業務を実施する。			
	総評	令和5年度は銚子中学校校舎新築及び屋内運動場大規模改造実施設計業務を実施した。令和6年度から工事を実施していく。			

一般会計	No.371 複式学級補助教員配置経費	所管	学校教育室
------	---------------------	----	-------

(単位 千円)							
歳出予算決算	予算現額	款		項		目	
	2,752	10款 教育費		02項 小学校費		01目 小学校管理費	
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	2,530				13	2,517	2,608

事業の概要	総合計画上の位置づけ	2-(1)-3教育環境の整備	
	関連計画	— ：総合戦略	
		— ：その他（ — ）	
	事業期間	単年度のみ	令和 5 年度から 令和 5 年度まで
	目的	複式学級の担任のサポートをすることで、指導時間の効率化や、きめ細やかな指導を行う。	
	対象	2つの学年が1学級を編成する複式学級の児童（船木小学校 5年15人、6年11人）	
	事業内容	複式学級では1人の教員が指導を行うことになるが、補助教員を配置することにより複式学級を解消し、きめ細やかな指導を行う。令和5年度は、船木小学校へ補助教員を配置した。	

事業の実績と成果	活動実績指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	年間授業日数		目標値	199日	199日
			実績値	199日	199日
			目標値		
			実績値		
			目標値		
			実績値		
	事業成果指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
	目標	小学校に複式学級補助教員を配置し、授業などにおける学習活動の支援を行い、児童の健全な教養の育成を図る。			
	総評	複式学級では異なる学年の児童が1つの教室で1人の先生から同時に授業を受けるため、一方の学年で指導をしている間、もう一方の学年は自習や課題などを行うことになり、児童の学習理解度の向上が難しくなるが、これが補助教員を配置することで解消され、きめ細やかな指導をすることができた。			

一般会計	No.415 銚子資産を活かした「学び」創出経費	所管	文化財・ジオパーク室
------	--------------------------	----	------------

(単位 千円)							
歳出予算決算	予算現額	款		項		目	
	35,892	10款 教育費		07項 社会教育費		01目 社会教育総務費	
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	27,671	12,336			12,024	3,311	25,348

事業の概要	総合計画上の位置づけ	2-(5)-2「銚子資産」活用の促進	
	関連計画	○：総合戦略	
		○：その他（ 銚子市文化財保存活用地域計画 ）	
	事業期間	期間限定複数年度	令和 4 年度から 令和 6 年度まで
	目的	「銚子市文化財保存活用地域計画」に基づき、文化財の保護を計画的に推進し、持続可能な文化財保護の仕組みを構築する。日本遺産やジオパーク活動を活用した「教育旅行」を推進し、地域の活性化を図る。	
	対象	市内・市外の住民、銚子資産（歴史文化・自然・地質・地形遺産など）、文化財所有者、教育関係者、観光関連事業者	
事業内容	○日本遺産やジオパーク活動の「学び」の拠点として位置付ける「展示室」をジオパーク・芸術センター内に整備する。 ○拠点から市内の歴史文化や地質資産を活用して市内を周遊できるルートや仕掛けを作り、「教育旅行」を推進する。 ○「教育旅行」をワンストップで受け入れる体制を整備し、官民協働で連携が取れる仕組みを構築する。		

事業の実績と成果	活動実績指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	主催事業（資料の企画展やワークショップ等）の実施		目標値	25回	20回
			実績値	31回	18回
	連携が図れた地域で活躍している事業者数		目標値	8人	5人
			実績値	9人	7人
	造成したプログラムによる誘客数		目標値	150人	100人
			実績値	1,026人	145人
	事業成果指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	拠点施設への来館者数 （各種事業への参加者数及び見学者数）		目標値	1,600人	1,475人
			実績値	4,189人	4,087人
	造成したプログラムを使用した市内宿泊者数 （アンケート調査により宿泊者数と確認）		目標値	30人	30人
			実績値	86人	37人
	連携が図れた地域で活躍している事業者が達成したしたプログラム数 （		目標値	8事業	5事業
			実績値	9事業	5事業
	事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
	目標	ジオパークの地質専門員をはじめとする専門家による「確かな」知識を質の高い教育プログラムとして提供するほか、銚子資産（本市の歴史文化や自然）を活用した「銚子ブランド」の価値の向上を図るとともに市民にとってふるさとへの愛着を高める。			
	総評	銚子資産を活かした多様な主催事業を開催することで、市民に対してふるさとの魅力の再発見につなげ、郷土愛の醸成につながった。また、市外からの来訪者が各種事業に参加することにより地域住民との交流の機会となり、関係人口や交流人口の創出及び増加に向けた取組みとなった。			

一般会計	No.417 ジオパーク・芸術センター改修経費	所管	文化財・ジオパーク室
------	-------------------------	----	------------

(単位 千円)							
歳出予算 決算	予算現額	款		項		目	
	18,141	10款 教育費		07項 社会教育費		05目	ジオパーク・ 芸術センター費
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	17,466			17,400		66	—

事業の概要	総合計画上の位置づけ	9-(1)-4公共施設のあり方の見直し	
	関連計画	—：総合戦略	
		○：その他（ 銚子市公共施設等総合管理計画【個別施設計画編第2期】 ）	
	事業期間	単年度のみ	令和 5 年度から 令和 5 年度まで
	目的	ジオパーク・芸術センターの良好な環境を整備し、避難所としての安全性も高める。	
	対象	市内・市外の住民、ジオパーク・芸術センター、教育関係者、観光関連事業者	
	事業内容	ジオパーク・芸術センターの利用の促進及び災害時の避難所としての機能の強化を図るため、トイレの洋式化改修工事を行う。	

事業の実績と成果	活動実績指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	ジオパーク・芸術センタートイレ洋式化改修		目標値	年度内完了	
			実績値	令和6年3月完了	
			目標値		
			実績値		
			目標値		
			実績値		
	事業成果指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
	目標	ジオパーク・芸術センターは、本市の日本遺産やジオパーク活動の拠点として位置付ける施設である。それに加え、災害時発生時の避難所としても利用するため、市内・市外の住民にとって利用しやすい施設にする必要がある。			
	総評	ジオパーク・芸術センターの利便性が高まり、利用促進や避難所としての機能強化にもつながった。			

一般会計	No.428 市議会DX推進関係経費	所管	議会事務局
------	--------------------	----	-------

(単位 千円)							
歳出予算決算	予算現額	款		項		目	
	2,348	01款 議会費		01項 議会費		01目 議会費	
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	1,861					1,861	—

事業の概要	総合計画上の位置づけ	9-(2)-5その他【情報化】		
	関連計画	ー：総合戦略		
		○：その他（ 銚子市DX推進計画 ）		
	事業期間	単年度繰返	令和 5 年度から	年度まで
	目的	効率的で迅速な議会運営、議会の活性化、危機管理体制の強化を図る。		
	対象	市議会議員		
	事業内容	○市議会議員全員へのタブレット端末の配付 ○議会棟インターネット環境整備 ○会議のペーパーレス化やグループウェアによる情報共有 ○オンライン会議の活用など市議会運営のデジタル化の推進		

事業の実績と成果	活動実績指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
			目標値		
			実績値		
			目標値		
			実績値		
			目標値		
			実績値		
	事業成果指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
	目標	市議会本会議及び各委員会において議員に配付する資料のペーパーレス化を100%実施する。情報伝達が迅速化することで議員活動が活発化し、議論を深めることにつなげる。			
	総評	令和5年12月市議会定例会からタブレット端末の活用を開始したが、急激なペーパーレス化による混乱を避けるため、紙とタブレット端末を併用することとし、完全ペーパーレス化に向けた運用方法を検証した。紙との併用のためペーパーレス化の効果検証には至らなかったが、今後、印刷業務等の削減により議会・執行部双方の業務効率化が期待できる。			

一般会計	物価高騰対応関係事業
------	------------

(単位 千円)

No.	事業名 (所管)	歳出予算決算				事業の計画概要				事業の実績		事業の検証・評価
		予算現額	決算額	左の財源内訳		目的・効果	事業期間		○ 決算額の内容・内訳（対象数、単価等） ○ 事業の対象（交付対象者、対象施設等）			
							始期	終期				
104	新型コロナウイルス感染症対策経費（水道事業会計補助及び出資経費分） （企画室）	42,081	42,081	国庫支出金	42,081	物価高騰分（電力費・薬品費）に対して助成を行うことにより、水道事業会計の経営の安定と水道水の安定供給の維持を図る。	R6.3	R6.3	○物価高騰対策補助金 電気料金高騰に伴う補てん 26,814,173円 薬品代高騰に伴う補てん 15,266,042円 ○水道事業会計	物価高騰分（電力費・薬品費）に対して助成を行うことにより、水道水の安定供給の維持に寄与した。		
			県支出金									
			市債									
			その他									
			一般財源									
115	電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金事業（地方創生臨時交付金分） （社会福祉室）	258,374	228,820	国庫支出金	228,820	電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯に対し給付金を支給することで、経済的負担の軽減を図る。	R5.7	R5.10	○事務費 12,970,183円 事業費 215,850,000円（30,000円×7,195世帯） ○基準日（令和5年6月1日）に銚子市に住民登録があり、同一世帯全員の令和5年度分の市町村民税均等割が非課税である世帯、家計急変世帯（令和5年1月～9月の間に家計が急変し、前記の世帯と同様の事情（非課税相当の収入状況）にあると認められる世帯）	低所得世帯の物価高騰による経済的負担の一定の軽減が図られた。		
			県支出金									
			市債									
			その他									
			一般財源									
116	電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金事業（重点支援地方創生臨時交付金分） （社会福祉室）	568,190	530,270	国庫支出金	530,270	電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯に対し給付金を支給することで、経済的負担の軽減を図る。	R6.1	R6.4	○事務費 9,750,057円 事業費 520,520,000円（70,000円×7,436世帯） ○基準日（令和5年12月1日）に銚子市に住民登録があり、同一世帯全員の令和5年度分の市町村民税均等割が非課税である世帯	低所得世帯の物価高騰による経済的負担の一定の軽減が図られた。		
			県支出金									
			市債									
			その他									
			一般財源									
117	電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金事業（均等割のみ課税世帯・子ども加算） （社会福祉室）	216,000	153,373	国庫支出金	153,373	電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、次の世帯に対し給付金を支給することで、経済的負担の軽減を図る。 ア 住民税均等割のみ課税世帯への給付金支給 イ 低所得の子育て世帯への加算給付	ア R6.2 イ R6.3	ア R6.5 イ R6.9	○事務費 3,873,028円 事業費 149,500,000円 （A100,000円×1,247世帯+B50,000円×496人） ○ア 基準日（令和5年12月1日）に銚子市に住民登録があり、同一世帯全員の令和5年度分の市町村民税均等割のみ課税である世帯 イ 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金（非課税世帯7万円及び均等割のみ課税世帯10万円）を受給した世帯のうち、基準日（令和5年12月1日）において、18歳以下の児童を扶養している世帯（1人あたり5万円）	低所得世帯の物価高騰による経済的負担の一定の軽減が図られた。		
			県支出金									
			市債									
			その他									
			一般財源									
163	低所得の子育て世帯生活支援特別給付事業（ひとり親世帯分） （子育て支援課）	29,868	24,534	国庫支出金	24,503	食費等の物価高騰に直面し、影響を特に受ける低所得の子育て世帯（ひとり親世帯）に対し、特別給付金を支給する。	R5.4	R6.3	○支給額 児童1人当たり一律50,000円 児童数 474人 50,000円×474人＝23,700,000円 ○次のア～ウのいずれかに該当する者 ア 令和5年3月分の児童扶養手当受給者 イ 公的年金等受給のため令和5年3月分児童扶養手当の支給を受けていない者 ウ 家計急変などで児童扶養手当受給者と同水準の者	食費等の物価高騰に直面し、影響を特に受ける低所得の子育て世帯（ひとり親世帯）に対し、特別給付金を支給することができた。		
			県支出金									
			市債									
			その他									
			一般財源	31								

(単位 千円)

No.	事業名 (所管)	歳出予算決算				事業の計画概要			事業の実績		事業の検証・評価
		予算現額	決算額	左の財源内訳		目的・効果	事業期間		○ 決算額の内容・内訳（対象数、単価等） ○ 事業の対象（交付対象者、対象施設等）		
							始期	終期			
164	低所得の子育て世帯生活支援特別給付事業（その他子育て世帯分） （子育て支援課）	19,204	14,452	国庫支出金 14,414		食費等の物価高騰に直面し、影響を特に受ける低所得の子育て世帯（その他子育て世帯）に対し、特別給付金を支給する。	R5.4	R6.3	○支給額 児童1人当たり一律50,000円 児童数 265人 50,000円×265人＝13,250,000円 ○次のア又はイのいずれかに該当する者 ア 令和4年度中に実施した子育て世帯生活支援特別給付金の支給対象者であった者 イ 令和5年3月31日時点で18歳未満の児童（障害児の場合20歳未満）を養育する父母等（令和6年2月末までに生まれた新生児等も対象）であって、令和5年度住民税（均等割）が非課税または令和5年1月1日以降の収入が急変し、住民税非課税相当の収入となった者	食費等の物価高騰に直面し、影響を特に受ける低所得の子育て世帯（その他子育て世帯）に対し、特別給付金を支給することができた。	
		県支出金									
		市債									
		その他									
				一般財源	38						
167	子どもの成長応援臨時給付金事業 （子育て支援課）	31,534	29,909	国庫支出金 県支出金 市債 その他 一般財源		物価高騰の影響を踏まえ、習い事や体験活動などにかかる経費の負担を軽減し、将来を担う子どもたちが豊かな成長につながる機会を得られるよう、市内在住の小学校1年生から中学校3年生までを対象に給付金を支給する。	R5.7	R6.3	○支給額 対象児童1人当たり10,000円 児童数2,811人 10,000円×2,811人＝28,110,000円 ○令和5年4月30日時点で銚子市に住民登録がある小・中学生（平成20年4月2日から平成29年4月1日までに出生した児童）	物価高騰の影響を踏まえ、習い事や体験活動などにかかる経費の負担を軽減するため、市内在住の小学校1年生から中学校3年生までを対象に給付金を支給することができた。	
			29,909								
168	就学前児童応援臨時給付金事業 （子育て支援課）	39,239	36,140	国庫支出金 県支出金 市債 その他 一般財源	36,127	物価高騰の影響を踏まえ、子育てにかかる経費の負担を軽減するため、就学前児童を対象に給付金を支給する。	R5.7	R6.3	○支給額 対象児童1人当たり30,000円 児童数1,189人 30,000円×1,189人＝35,670,000円 ○令和5年4月30日時点で銚子市に住民登録がある就学前児童（平成29年4月2日から令和6年2月29日までに出生した児童）	物価高騰の影響を踏まえ、子育てにかかる経費の負担を軽減するため、就学前児童を対象に給付金を支給することができた。	
				13							
390	学校給食費無償化・負担軽減事業※ （学校給食センター）	102,558	74,090	国庫支出金 県支出金 市債 その他 一般財源	73,087	学校給食の質を維持するとともに子育て世帯の負担軽減を図るため、食材費の高騰分及び児童・生徒の保護者が支払う学校給食費を市が負担する。	R5.4	R6.3	○第1子・第2子分学校給食費負担軽減・無償化 63,847,609円 ・4月～9月 学校給食費の3割相当額の減免 小学生 4,600円→3,200円 中学生 5,500円→3,800円 ・10月～3月 学校給食費無償化 ○児童・生徒分賄材料費の物価高騰分に係る市の負担 10,242,432円	学校給食費の3割減免、無償化及び物価高騰による賄材料費の増額分を市の負担としたことにより、保護者の負担軽減を図ることができた。	
				1,003							
391	学校給食費無償化事業 （第3子以降分） （学校給食センター）	17,356	13,062	国庫支出金 県支出金 市債 その他 一般財源	6,573 6,261	小・中学校に在籍する第3子以降の児童・生徒の学校給食費を補助することにより、子どもの多い世帯の経済的負担を軽減する。	R5.4	R6.3	○学校給食費補助金交付額 ・小学校児童第3子以降（190人）分 9,248,022円 ・中学校生徒第3子以降（56人）分 3,275,173円 ○小学校・中学校に在籍する第3子以降の児童・生徒を扶養している保護者	第3子以降の児童・生徒の学校給食費を無償化することにより、保護者の負担軽減を図ることができた。	
				228							

※ 学校給食費無償化・負担軽減事業は、学校給食センター管理運営経費のうち児童・生徒に係る学校給食費無償化(第3子以降分を除く。)及び保護者の負担軽減に関係する経費を抜粋し、掲載しています。そのため、事業一覧におけるP.26の学校給食センター管理運営経費(学校給食センター)の本年度決算額とは一致していません。

国民健康保険事業特別会計	所管	保険年金室
--------------	----	-------

							(単位 千円)
歳出予算決算	予算現額	款		項		目	
	5, 183, 028	02款 保険給付費					
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	4, 965, 568		4, 932, 872		14, 352	18, 344	5, 199, 356

事業の概要	総合計画上の位置づけ	国民健康保険制度の健全な運営		
	関連計画	―：総合戦略		
		―：その他（ ）		
	事業期間	単年度繰返	年度から 年度まで	
	目的	国民健康保険被保険者に対し、療養費等を給付することにより、医療機関受診に係る負担を軽減し、被保険者の健康保持及び改善を図る。		
	対象	国民健康保険被保険者等		
	事業内容	国民健康保険被保険者の疾病及び負傷に関し、療養の給付を行うほか、療養の給付等を行うことが困難であると認めるとき又は保険医療機関等以外の病院、診療所等において診療を受けるなどした場合において、療養費を給付するとともに、療養の給付が高額となる場合において、高額療養費の給付により被保険者負担の軽減を図った。		

事業の実績と成果

活動実績指標項目		予算／実績	令和5年度	令和4年度
療養給付費（現物給付） （令和5年度 248,445件 令和4年度 257,061件）		予算額	4,410,302,000円	4,533,715,000円
		実績値	4,253,213,028円	4,461,930,560円
療養費（現金給付） （令和5年度 5,557件 令和4年度 6,183件）		予算額	49,255,659円	50,167,590円
		実績値	39,523,083円	42,902,908円
審査支払手数料 （令和5年度 253,967件 令和4年度 263,411件）		予算額	10,059,000円	10,121,410円
		実績値	9,756,298円	10,121,410円
高額療養費等（現物・現金給付） （令和5年度 13,135件 令和4年度 13,757件）		予算額	692,635,000円	679,593,000円
		実績値	646,206,300円	667,470,952円
出産育児一時金（1人あたり 上限500,000円） （支給件数 令和5年度 20件 令和4年度 22件）		予算額	13,856,000円	13,027,000円
		実績値	9,949,292円	8,859,238円
葬祭費（1人あたり 50,000円） （支給件数 令和5年度 135件 令和4年度 118件）		予算額	6,750,000円	8,000,000円
		実績値	6,750,000円	5,900,000円
事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
総評	被保険者数は減少したものの、1人あたりの医療費は増加した。この要因としては、高齢化や医療技術の高度化、高額医薬品の保険適用、被用者保険の適用拡大、高額療養費支給申請の簡素化などにより、医療費が年々増加傾向にあることなどが挙げられる。			
		被保険者数	1人あたり給付費※	
	令和4年度	16,078人	321,700円	
	令和5年度	15,066人	327,823円	
	※1人あたり給付費は、療養給付費、医療費、高額療養費等の合計額を被保険者数で除したもの			

国民健康保険事業特別会計	所管	保険年金室
--------------	----	-------

(単位 千円)							
歳出予算決算	予算現額	款		項		目	
	2, 147, 599	03款 国民健康保険事業費納付金					
	決算額	財 源 内 訳					前年度決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	2, 147, 598					2, 147, 598	2, 050, 636

事業の概要	総合計画上の位置づけ	施策体系外		
	関連計画	—：総合戦略		
		—：その他（ ）		
	事業期間	単年度繰返	平成 30 年度から	年度まで
	目的	国民健康保険法第75条の7の規定により、国民健康保険制度の安定化を図るため、県が市町村に交付する国民健康保険保険給付費等交付金などの財源として納付する。		
	対象	千葉県		
	事業内容	国民健康保険事業の広域化（県単位）に伴い、県が負担することとなる保険給付費等交付金やその他事業に要する経費の財源として、国民健康保険事業費納付金を県に納付した。		

事業の実績と成果	活動実績指標項目		予算／実績	令和 5 年度	令和 4 年度
	医療給付費分		予算額	1, 391, 756, 000円	1, 338, 667, 000円
			実績値	1, 391, 755, 806円	1, 338, 665, 617円
	後期高齢者支援金分		予算額	545, 396, 000円	489, 849, 000円
			実績値	545, 395, 771円	489, 848, 701円
	介護納付金分		予算額	210, 447, 000円	222, 123, 000円
			実績値	210, 446, 027円	222, 122, 018円
	事業成果指標項目		目標／実績	令和 5 年度	令和 4 年度
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
	総評	【国民健康保険事業費納付金の主な財源】			
					(単位 円)
			国民健康保険料		一般会計繰入金 保険基盤安定繰入金
			現年度分	滞納繰越分	
		医療給付費分	1, 016, 423, 570	44, 064, 442	295, 838, 912
		後期高齢者支援金等分	308, 289, 286	12, 797, 428	78, 562, 947
		介護納付金分	155, 637, 357	8, 154, 323	40, 626, 293
		合計	1, 480, 350, 213	65, 016, 193	415, 028, 152
	合計				
	1, 960, 394, 558				
	※上記のほか特別調整交付金（県交付金）、諸収入等。納付金総額は確保できているものの、区分ごとの額に偏りがあり是正が必要。				
	平成27年度からの累積赤字が解消したことから、再び赤字財政に陥ることのないよう、適切に保険料率を見直すため、令和4年10月「銚子市国民健康保険の保険料率見直し方針」を策定した。				

国民健康保険事業特別会計	所管	保険年金室
--------------	----	-------

							(単位 千円)
歳出予算決算	予算現額	款		項		目	
	60,362	06款 保健事業費					
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	58,026		21,939		22	36,065	75,721

事業の概要	総合計画上の位置づけ	主体的な健康づくりの推進		
	関連計画	―：総合戦略		
		○：その他（第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）、第3期特定健康診査実施計画）		
	事業期間	単年度繰返	平成20年度から	年度まで
	目的	メタボリックシンドロームに着目し、その要因となっている生活習慣病に関する健康診査（特定健康診査）を行い、糖尿病等の生活習慣病予備軍の早期発見、予防に努めることにより、国民健康保険被保険者の健康の保持増進を図るとともに、特定健康診査の結果、生活習慣病重症化リスクの高い方に対し、特定保健指導を実施することで重症化予防を図る。		
	対象	特定健康診査：40歳以上の国民健康保険被保険者 保健事業：国民健康保険被保険者		
	事業内容	40歳以上の国民健康保険被保険者に特定健康診査受診案内の送付及び未受診者に対する受診勧奨通知の送付。 健診結果を基に特定保健指導対象者に案内を送付し、保健師による指導を実施。ジェネリック医薬品の使用促進のため、被保険者証郵送時にジェネリック医薬品のチラシ等を同封するほか、薬局に対してジェネリック医薬品への切り替え率を情報提供するなど啓発に努める。		

事業の実績と成果

活動実績指標項目		予算／実績	令和5年度	令和4年度
特定健康診査等事業費		予算額	40,617,000円	69,385,000円
		実績値	38,782,241円	59,154,544円
保健事業費		予算額	19,745,380円	18,456,000円
		実績値	19,243,723円	16,567,235円
事業成果指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
特定健診受診率（受診者数/対象者数） (令和5年度 4,018人/12,366人、令和4年度 4,104人/13,285人)		目標値	60.0%	56.0%
		実績値	32.5%	30.9%
特定保健指導実施率（終了者数/対象者数） (令和5年度 232人/685人、令和4年度 134人/670人)		目標値	60.0%	54.0%
		実績値	33.9%	20.0%
ジェネリック医薬品使用率（各年度3月実績） ()		目標値	80.9%	80.9%
		実績値	81.7%	79.9%
事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
総評	○集団健診を10日間、個別健診を5月～11月まで実施した。コロナ禍前の受診者数には回復しなかったが、受診勧奨通知（9,409通送付）の成果もあってか、個別健診を合わせた全体の受診率は増加した。 ○特定保健指導については昨年度より実施率は大幅に上昇したものの、目標を大きく下回る結果となった。 ○ジェネリック医薬品の使用率については、個人への啓発などに努めた成果か、目標を達成できた。 ○保健事業として被保険者個人に対し次のとおり助成事業を実施した。 (1) 人間ドック等検査費用への助成【検査費用の7割 上限30,000円】 479件 14,318,780円 (2) はり・きゅう・マッサージ施術への助成【1件あたり600円】 716件 429,600円 人間ドックの助成が昨年度から50件近く増加しているため、健康意識への向上があったのではないと思われる。			

介護保険事業特別会計	所管	高齢者福祉課
------------	----	--------

(単位 千円)							
歳出予算決算	予算現額	款		項		目	
	5, 982, 074	02款 保険給付費					
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	5, 892, 638	1, 398, 162	852, 538		2, 331, 778	1, 310, 160	5, 850, 990

事業の概要	総合計画上の位置づけ	介護保険制度の運営の充実		
	関連計画	―：総合戦略		
		○：その他（ 銚子市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画 ）		
	事業期間	単年度繰返	年度から 年度まで	
	目的	個人の心身の状態に合わせたケアプランに基づき提供する介護保険サービスを活用し、高齢者の暮らしを支える。		
	対象	要介護・要支援認定者		
	事業内容	介護サービス、各種費用負担軽減サービスの給付及び公費負担のうち市町村分の負担		

事業の実績と成果	活動実績指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	要介護・要支援認定者数		目標値	―	―
			実績値	4, 016人	3, 887人
	介護サービス利用者数（1カ月当たり）		目標値	―	―
			実績値	3, 110人	3, 122人
	給付件数（延べ）		目標値	―	―
			実績値	98, 726件	98, 020件
	事業成果指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	要介護・要支援認定者のサービス利用率 （ 介護サービス利用者数/要介護・要支援認定者数 ）		目標値	100%	100%
			実績値	77. 4%	80. 3%
	（ ）		目標値		
			実績値		
	（ ）		目標値		
			実績値		
	事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
	目標	介護給付を必要とする方を適切に認定し、真に必要とする過不足のないサービスを、事業者が提供できるよう介護サービスの充実・質の向上を図る。			
	総評	要介護・要支援認定者のうち介護サービスを利用していない方が一定数いるため、介護サービスの利用に結び付かない要因を把握するとともに、介護保険以外のサービスで高齢者の暮らしにおける負担軽減となるような仕組みづくりが必要である。			

介護保険事業特別会計	所管	高齢者福祉課
------------	----	--------

(単位 千円)							
歳出予算決算	予算現額	款		項		目	
	235, 268	04款 地域支援事業費					
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	230, 257	69, 422	34, 147		72, 485	54, 203	216, 774

事業の概要

総合計画上の位置づけ	地域包括ケアシステムの構築・推進		
関連計画	―：総合戦略		
	○：その他（ 銚子市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画 ）		
事業期間	単年度繰返	平成 18 年度から	年度まで
目的	高齢者が、住み慣れた地域での暮らしや在宅での生活をできるだけ続けられるよう、介護予防や生活支援体制の充実と地域包括支援センターの機能強化を図る。		
対象	65歳以上の高齢者		
事業内容	【介護予防事業】ふれあい交流サロンや銚子プラチナ体操の実施団体への支援など 【包括的支援事業】基幹型及び委託型地域包括支援センターの運営、生活支援コーディネーターの配置 【任意事業】要介護認定3以上の在宅高齢者への紙おむつの給付、認知症サポーターの養成など		

事業の実績と成果	活動実績指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	ふれあい交流サロン参加人数（延べ）		目標値	3,100人	2,700人
			実績値	2,674人	2,038人
	銚子プラチナ体操実施団体数		目標値	80団体	70団体
			実績値	52団体	52団体
	個別地域ケア会議開催回数		目標値	37回	34回
			実績値	24回	21回
	認知症サポーター養成講座受講者数（延べ）		目標値	5,500人	5,400人
			実績値	6,550人	6,254人
	事業成果指標項目		目標／実績	令和5年度	令和4年度
	要支援・要介護認定率 （ ）		目標値	18.7%	18.7%
			実績値	17.9%	17.2%
	（ ）		目標値		
			実績値		
	事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
	目標	基幹型地域包括支援センターと市内3つの日常生活圏域に設置している委託型地域包括支援センターが連携し、高齢者の総合相談にあたりるとともに、各種事業を通して高齢者の介護予防や生活支援の充実を図る。			
	総評	基幹型及び委託型の地域包括支援センターについては、円滑な連携のもと、総合相談業務の運営も良好に行われている。事業の面では、コロナ禍に活動が縮小された事業が回復していないことから、活動の推進を図る必要がある。			

後期高齢者医療事業特別会計	所管	保険年金室
---------------	----	-------

(単位 千円)							
歳出予算決算	予算現額	款		項		目	
	940, 541	02款 後期高齢者医療 広域連合納付金		01項 後期高齢者医療 広域連合納付金		01目 後期高齢者医療 広域連合納付金	
	決算額	財 源 内 訳					前年度 決算額
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
	897, 797				896, 184	1, 613	880, 414

事業の概要

総合計画上の位置づけ	施策体系外		
関連計画	―：総合戦略		
	―：その他（ ）		
事業期間	単年度繰返	平成 20 年度から	年度まで
目的	高齢者の医療に関する法律第48条に基づき、後期高齢者医療の事務(保険料の徴収の事務及び被保険者の便益の増進に寄与するものとして政令で定める事務を除く。)を処理するために設けられた後期高齢者医療広域連合に対し、本市の被保険者に係る保険料を徴収し納付する。		
対象	千葉県後期高齢者医療広域連合		
事業内容	千葉県後期高齢者医療広域連合が給付する保険給付費その他事業に要する経費の財源として、徴収した保険料等を広域連合へ納付する。		

事業の実績と成果	活動実績指標項目		目標／実績	令和 5 年度	令和 4 年度
	後期高齢者医療保険料		目標値	719, 528, 000円	712, 229, 000円
			実績値	686, 688, 700円	675, 866, 640円
	保険基盤安定制度負担金		目標値	220, 001, 000円	212, 580, 000円
			実績値	209, 306, 767円	203, 164, 554円
	延滞金分		目標値	12, 000円	12, 000円
			実績値	188, 600円	129, 200円
	精算分		目標値	1, 000, 000円	1, 000, 000円
			実績値	1, 612, 860円	1, 253, 800円
	事業成果指標項目		目標／実績	令和 5 年度	令和 4 年度
	()		目標値		
			実績値		
	()		目標値		
			実績値		
	事業成果の評価 ※上記の指標による数値で表せない場合は、本欄のみ記載				
	総評	被保険者から徴収した後期高齢者医療保険料及び一般会計繰入金(保険基盤安定繰入金) 等を千葉県後期高齢者医療広域連合に納付した。			

— 附 表 —

令和 5 年度末会計別地方債現在高一覧

(単位 千円)

会計名		年度末現在高		
		元金	利子	合計
一般会計		23, 722, 773	608, 746	24, 331, 519
参考	水道事業会計	5, 079, 290	686, 329	5, 765, 619
	病院事業会計	704, 315	7, 806	712, 121
	下水道事業会計	8, 320, 813	619, 195	8, 940, 008
合計		37, 827, 191	1, 922, 076	39, 749, 267

令和 6 年度以降会計別債務負担行為支出予定額一覧

(単位 千円)

会計名		令和 6 年度以降の支出予定額
一般会計		3, 407, 412
参考	水道事業会計	1, 055, 164
	下水道事業会計	142, 560
合計		4, 605, 136

令和 5 年度 銚子市土地開発基金調書

(単位 m²)

区分	前年度からの繰越額	運用状況		年度末現在高
		取得	処分	
土地	26, 114. 00	—	—	26, 114. 00

令和 5 年度 銚子市育英資金貸付基金調書

(単位 千円)

区分	前年度からの繰越額	運用状況		年度末現在高
		増加高	減少高	
現金	79, 892	4, 349	3, 000	81, 241
貸付金	22, 233	3, 000	4, 348	20, 885
合計	102, 125	7, 349	7, 348	102, 126

入湯税の使途に関する説明書

入湯税は、鉱泉浴場における入湯に対し、入湯客に課税され、その使途は環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設及び消防施設その他消防活動に必要な施設の整備並びに観光振興（観光施設の整備を含む。）に要する経費に充てることとされています。

本市の令和5年度決算における充当状況は次のとおりです。

（歳入）	入湯税	14,458千円
（歳出）	観光振興等に要する経費	148,857千円

【主な観光振興等に要する経費】

（単位 千円）

事業名		決算額	財源内訳				
			国県支出金	市債	その他	一般財源	うち入湯税
観光振興	海水浴場関係経費	9,056				9,056	14,458
	観光宣伝経費	1,935			1,934	1	
	観光ボランティア関係経費	100				100	
	初日の出関係経費	2,244			15	2,229	
	観光協会関係経費	7,733				7,733	
消防施設	消防庫新築経費	34,382	2,287	32,000		95	
	西部分署整備経費	93,407		93,200		207	
合計		148,857	2,287	125,200	1,949	19,421	14,458

都市計画税の使途に関する説明書

都市計画税は、都市計画区域内のうち農用地区域以外の区域内に所在する土地及び家屋に課税され、その使途は、都市計画事業又は土地区画整理事業に要する経費に充てることとされています。

本市の令和5年度決算における充当状況は次のとおりです。

(歳入) 都市計画税 444,404千円

(歳出) 都市計画事業等に要する経費 1,089,384千円

【主な都市計画事業等に要する経費】

(単位 千円)

事業名		決算額	財源内訳				
			国県支出金	市債	その他	一般財源	うち 都市計画税
都市計画事業等	公債費 ※	182,443				182,443	444,404
	清川町第2公園整備事業分	1,802				1,802	
	広域ごみ処理施設建設費負担事業分	76,574				76,574	
	清掃センター設備更新事業 (平成29年度～平成30年度) 分	6,516				6,516	
	衛生センター基幹的設備改良事業分	97,551				97,551	
	下水道事業 (公営企業への補助金等)	906,941			440	906,501	
合計		1,089,384	0	0	440	1,088,944	444,404

※ 公債費は、都市計画施設の整備（改修・更新を含む。）に関する事業分のみを計上しています。

森林環境譲与税の使途に関する説明書

森林環境譲与税は、森林の整備又は森林の整備を担うべき人材の育成及び確保、森林の有する公益的機能に関する普及啓発、木材の利用の促進その他の森林の整備に関する施策の財源に充てることを目的に国から譲与されているものです。

本市の令和5年度決算における充当状況は次のとおりです。

(歳入)	森林環境譲与税	7,190千円
(歳出)	森林の整備に関する施策等に要する経費	7,190千円

【森林の整備に関する施策等に要する経費】 (単位 千円)

事業名	決算額	財源内訳				
		国県支出金	市債	その他	一般財源	うち 森林環境 譲与税
森林環境基金積立	7,190				7,190	7,190
合計	7,190	0	0	0	7,190	7,190

参考

【森林環境基金充当事業】 (単位 千円)

事業名	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	うち 森林環境 基金繰入金	一般財源
農業振興経費 千葉県森林クラウドサービス利用料	84			84	84	
図書館管理運営経費 大型絵本読み聞かせスタンド購入	15			15	15	
合計	99	0	0	99	99	0

地方消費税交付金（社会保障財源分）が充てられる社会保障施策に要する経費について

消費税率(国・地方)が平成26年4月1日から5%から8%、令和元年10月1日から10%へ引き上げられたことに伴い、地方消費税交付金の増収分については、全て社会保障施策に要する経費に充てるものとされています。本市の令和5年度決算における充当状況は次のとおりです。

(歳入) 引き上げ分の地方消費税交付金（社会保障財源化分） 766,319千円

(歳出) 社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 7,655,193千円

(単位 千円)

区分	予算科目			決算額	財源内訳				
	款	項	目		特定財源			一般財源	うち地方消費税交付金（社会保障財源化分）
					国県支出金	地方債	その他		
社会福祉	3 民生費	1 社会福祉費	1 社会福祉総務費	30,653	1,221		4,545	24,887	766,319
			2 心身障害者福祉費	1,603,606	1,117,186		17,248	469,172	
		2 老人福祉費	1 老人福祉総務費	17,705	841		419	16,445	
			2 老人措置費	50,667			5,762	44,905	
		3 児童福祉費	1 児童福祉総務費	220				220	
			2 児童措置費	1,556,200	1,032,483		45,187	478,530	
			3 保育所費	36,715			36,191	524	
			4 児童発達支援センター費	944				944	
		4 生活保護費	2 扶助費	1,178,153	898,576			279,577	
		保健衛生	4 衛生費	1 保健衛生総務費	1 保健衛生総務費	621,745	70		
2 予防費	3,841				53	30	3,758		
社会保険	3 民生費	1 社会福祉費	5 国民健康保険費	569,551	314,587			254,964	
		2 老人福祉費	1 老人福祉総務費	1,985,193	171,445			1,813,748	
合計				7,655,193	3,536,462	0	109,382	4,009,349	766,319

※ 人件費、事務費及び基金積立金については、除外しています。